

# かくどうほいく ふなばし

2005年度No.1 市連協だより

2005. 5. 19 (金) 発行

船橋市学童保育連絡協議会

(住所) 船橋市南本町31-5

(Tel/Fax) 047-433-9266

(ホームページ) [homepage2.nifty.com/fghrk/](http://homepage2.nifty.com/fghrk/)

# かくどうキャンプ

**7月30日(土)・31日(日) 1泊2日 かくどうキャンプ実施**

**応募人数 先着 120名**

**6月26日(日)キャンプ説明会実施 時間：10時から 場所：船橋市勤労市民センター**

市連協行事の一環として、「千葉県立水郷小見川少年自然の家」にて、「かくどうキャンプ」を7月30日・31日の1泊2日で実施いたします。  
楽しい思い出と、友だちの交流、親同士の交流を深めたいと思っています。



楽しいキャンプファイヤーの様子

## 水郷小見川少年自然の家

香取郡小見川町の黒部川沿いに位置し、水郷の豊かな水と自然、文化の中で、さまざまな直接体験を通して、心身ともに健全でたくましく、創造性豊かな少年を育む施設です。



カヌー体験「かっこいい～」



キャンプ用テント「ここで寝た～い！！」

期 間 7月30日(土)から31日(日)まで 1泊2日。  
 宿 舎 千葉県立水郷小見川少年自然の家  
 千葉県香取郡小見川町小見川5249-1  
 電話 0478-82-1343  
 交通機関 電車・車を利用 (現地集合・現地解散)  
 費 用 3,600円(大人～小学生) 朝食・昼食・夕食・シーツ代含む  
 1,800円(幼児)  
 申込み 6月 日( )までにファクシミリで船橋市学童保育連絡協議会事務所まで  
 申込み用紙をお送り下さい。(Tel/Fax) **047-433-9266**

----- キリトリ線 -----

### かくとうキャンプ申込書

住所

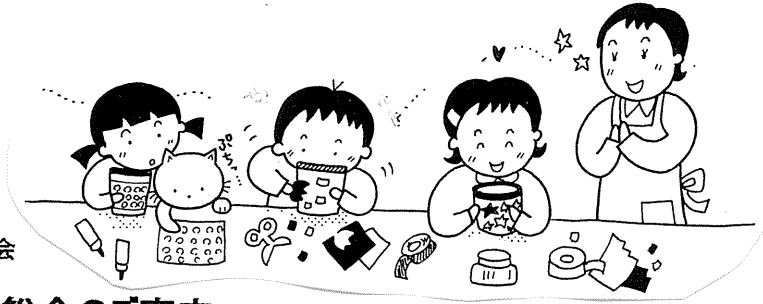
氏名	年齢	学年	性別	男・女
〃	〃	〃	〃	男・女
〃	〃	〃	〃	男・女
〃	〃	〃	〃	男・女
〃	〃	〃	〃	男・女

ルーム名

同行保護者氏名

印

船橋市学童保育連絡協議会



## 2005年度 定期総会のご案内

と き 2005年6月26日(日)

受付 13時 開始 13時30分

ところ 船橋市勤労市民センター 第1・2会議室

船橋市本町4-19-6 TEL.(425)2551

ないよう 2004年度活動報告

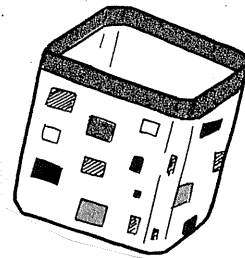
決算報告

会計監査報告

2005年度活動方針(案)

予算(案)

役員改選



討議の中で各父母会活動やルーム行事等放課後ルーム(学童保育)交流も行ないます。

放課後ルーム(学童保育)のまいにちをゆたかに・・・おとなも手を携えましょう

市内公立55小学校に放課後ルーム(学童保育)が、設置されました。

この間要望してきていることが、—— 待機児対策を講じるため増設の箇所を増やす、小学区外にある放課後ルーム(学童保育)の小学区内に移転の予算化、父母会へのこれまでの児童育成課や指導員 園長の対応の改善(配布物・行事活動・保護者会後の父母会開催等など)をはかる、保護者参加のルーム行事開催など、——大きく前進してきています。父母会があるところでは、わが子を通し毎日放課後ルーム(学童保育)で過ごしている子どもたちの親たちと、情報交換や交流会懇談会が定期的に開かれています。

しかし 放課後ルーム(学童保育)によっては、放課後ルーム(学童保育)入所希望数も多くなっています。「入所ができない」、「低学年優先ということでも2年生の継続入所ができない」等入所を待っている状況があります。毎日のルーム(学童保育)の生活では、おやつや連絡帳・弁当・あそび・トラブルの解決の仕方・指導員の名前と顔が一致しない、大規模化していることの問題など、知恵を出し合って改善を要することもあります。

この総会では、父母会のとりくみや、父母会発足準備の意見交換、子どもたちの毎日の放課後(長期休業中含)の生活で気になること、今 子どもの時だから大事にしたいこと、安心してわが子を託すために求められる指導員と父母との関係等について一緒に考えあい、工夫についても経験交流をします。2004年度のかつどう を振り返り2005年度の活動の方針を確認する場となります。ぜひご出席ください。

まだ 船橋市学童保育連絡協議会に入会されていない父母・父母会のかたもこの総会を機に、ご参加いただけますようのご案内申し上げます。詳細問い合わせは別記連絡先まで

## ほのほの保育報告

# 新一年生それぞれの春

今年もたくさんさんの一年生が入所してきました。

一年生にとって学童保育も小学校も「初めてのの世界」となれば、いやがおうにも心が弾みます。

一年生の給食が遅れて始まるため、一年生だけの学童生活期間があります。四月一日から大方の子が来ているので、だいぶルームの生活の流れもわかって、すっかり学童つ子気分です。お弁当の時「だれか『いただきます』の号令をかけてくれる人いませんか？」と声をかけると、ハイハイと次々手が上がりました。そんな元気な姿が楽しくて、手を挙げた人全員にお願いすることになったら、なんと三分の二の子が「号令係」として前に出てずーっと並びました。そして、号令係の「いただきますっ！」の声、部屋の中に響きました。

「家に帰ると疲れ切って寝てしまうんですよ」とお母さん。毎年のように出る話題に、「大丈夫。一年生の最初は同じような様子なんですよ。ルームでもあまり無理し

ないようにしてはいますが、ご家庭の方でも少し早めに寝かせるとか、お休みの日はゆっくりするとかされると良いと思います」という会話も、やはり毎年のよう繰り返されています。

その一方で、元気で遊んでいた子が、夕方になると突然「おばあちゃんに会いたい…」と、めそめそ泣きながら小さな声で訴えてきます。「もう少しでお母さんがお迎えに来るから待っててね」とオセロやトランプ遊びに誘ってその時間まで何とかつなぎます。かと思うと、おやつの時間になるとたんに元気がなくなる子も…。「私おやついらない!」「班の人と食べたくない!」と指導員の後をしつかりと着いてきます。おやつ時間が終わると、また元気になって外遊びに飛んでいきました。「保育園もなかなか慣れなかった」というお話をお母さんから伺っていたので、こちらでも少し余裕を持って対応することができました。

一ヶ月あまり経って、班のみんなと一緒におやつを食べる姿がありました。

こうして、一年生それぞれの一年間が始まりました。